

留学報告書

2025年度 交換留学 北山結俅

私は2025年2月25日から2025年8月30日までの半年間、韓国の東国大学に留学しました。留学の目的は韓国語能力の向上と、現地の方と交流し自身の視野を広げることでした。実際に現地で学び、生活する中で多くのことを経験し、自分にとって非常に有意義な半年間となりました。その半年間を振り返って町の様子や大学の様子などについて報告したいと思います。

東国大学での生活は特に充実していたように感じました。私は語学堂3級と4級の2学期分通いましたが、授業中に積極的に自分の意見を話したりクラスメイトと会話したりする機会があったので楽しかったです。先生もとても親切で語学力向上のためにしっかりサポートしてくれて不安なことや、わからないことがあった時に解決するために力を貸してくださったりして語学堂に関しての不安は特になかったと思います。その他に東国大学のハラムというサークルに所属したのですが、友達作りや韓国文化の勉強にとっても役立ちました。毎週土曜日朝11時から昼13時まで韓国の文化や歴史、若者の中で流行していることなど、授業の種類は豊富でしたがそのような内容の授業を聞いて他の国ではそれぞれどんな比較できることがあるのかをグループで話し合いながら発表し、たくさんの人と交流するサークルでした。300人以上の外国人なら誰でも入れる大きなサークルだったので、韓国人以外にもたくさん友達が来て休日も遊んだりご飯を一緒に食べに行ったりしてとても楽しく充実していたと思います。他の大学に留学している友達に聞いてみてもハラムのようなサークルはないみたいだったので東国大学に通えてよかったと感じています。

学部の授業はTOPIKと時事韓国語の2つを履修してどちらも学期末にテストがありました。TOPIKは実際にTOPIKに出るような問題を授業内で解いて対策するといった内容でした。韓国にいる間にTOPIKを受けることが出来なかったのですが先生もわかりやすく教えてくれてこれから役立つ授業だと思いました。時事韓国語は毎週違ったニュースを取り上げてそこに出てくる専門的な語彙を学んでから問題を解いていくような授業でした。1度レポートを書いて提出し、その他にグループで1つのニュースについて考えてPPTを作り発表もしました。1つ1つの語彙も難しく難易度が高く感じましたが、時事韓国語の授業を受けたおかげで韓国語のニュースを見て理解できる部分が増えたので履修して良かったです。

留学を半年間して変化したことは語学力が大きく向上したことです。韓国に到着してすぐは相手に伝わるかが不安で大きく言葉の壁を感じて自ら話すことが出来ず、話す機会があっても韓国語が理解出来なくてほぼ翻訳機を使って話していましたが、最後には日常会話もスムーズに出来るようになりました。初めはもちろん怖いと思いますが韓国にいる以上韓国語力は伸びると思うので何事も挑戦することが大事だと思いました。